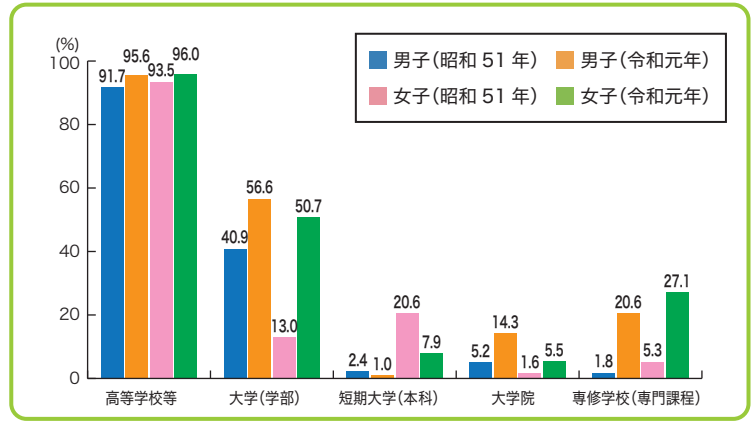


06 教育・研究の分野における男女共同参画

1 学校種類別進学率の推移

女性の大学（学部）進学率は **50.7%** であり、長期的には上昇傾向にあります。男性に比べると 5.9ポイント低い状況にあります。なお、女性の短期大学への進学とあわせると、高等教育機関への進学率は **58.6%** となっています。

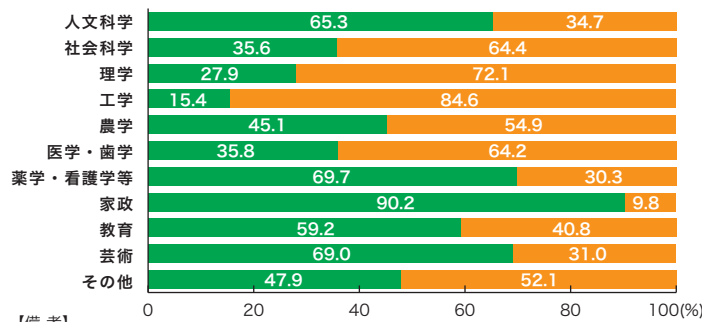
- 【備考】
1. 文部科学省「学校基本調査」より作成。
 2. 高等学校等：中学校卒業後及び中等教育学校前期課程修了者のうち、高等学校等の本科・別科、高等専門学校に進学した者の占める割合。ただし、進学者には、高等学校の通信制課程（本科）への進学者を含まない。
 3. 専修学校（専門課程）進学率は、「専修学校（専門課程）入学者数（過年度高卒者等を含む）」/「3年前の中学卒業後及び中等教育学校前期課程修了者数」×100により算出。
 4. 大学（学部）、短期大学（本科）：大学学部・短期大学本科入学者数（過年度高卒者等を含む。）を3年前の中学卒業後及び中等教育学校前期課程修了者数で除した割合。ただし、入学者には、大学又は短期大学の通信制への入学者を含まない。
 5. 大学院：大学学部卒業者のうち、直ちに大学院に進学した者の割合（医学部、歯学部は博士課程への進学者）。ただし、進学者には、大学院の通信制への進学者を含まない。



2 専攻分野別に見た学生（学部）の男女割合

理学、工学分野における女子学生比率は少なく、専攻分野別により男女の偏りが見られます。

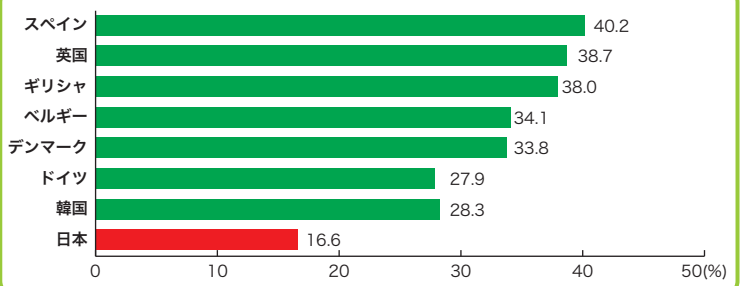
令和元年度学校基本調査



- 【備考】
1. 文部科学省「令和元年度学校基本調査」より作成。

3 研究者に占める女性割合の国際比較

我が国の女性研究者数は増加傾向にありますが、その割合は諸外国と比較すると、なお低い水準にあります。



- 【備考】
1. 総務省「科学技術研究調査」（令和元年）、OECD「Main Science and Technology Indicators」より作成。
 2. 日本の数値は、平成31（2019）年3月31日現在の値。韓国は平成30（2018）値、スペイン、英国は平成28（2016）年値、その他の国は、平成27（2015）年値。推定値及び暫定値を含む。

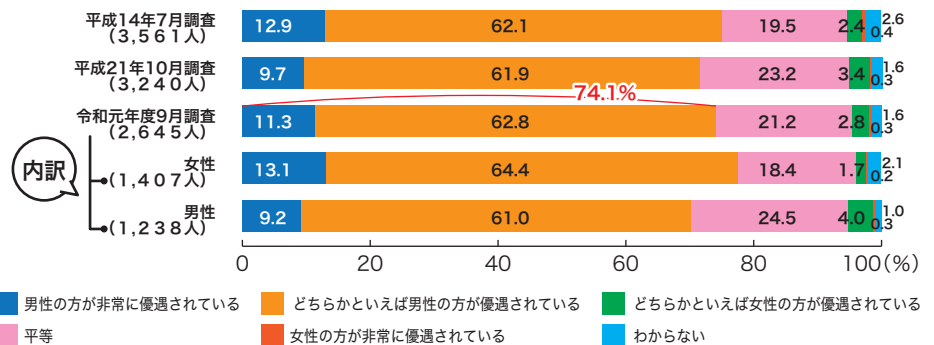
07 男女共同参画社会に関する意識

1 男女の地位の平等感

社会全体で見た場合、男女の地位について、**74.1%** が「男性の方が優遇されている」と考えています。

男女別にみると、「男性の方が優遇されている」と回答した人は男性よりも女性に多くなっています。

- 【備考】
- 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年9月）より作成



2 固定的な性別役割分担意識「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」

平成14年調査では賛成（「賛成」+「どちらかといえば賛成」）と反対（「反対」+「どちらかといえば反対」）の割合がほぼ同じでしたが、その後反対が賛成を上回り、反対が5割を超えました。

再び賛成が反対を上回る年度もありましたが、平成26年度以降の調査では常に反対が賛成を上回り、最新の調査では反対の割合が約6割となっています。

- 【備考】
- 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年9月）より作成

